

製品名: COL14A1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09170**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	COL14A1 UND
別名	Collagen alpha-1(XIV) chain (Undulin)
遺伝子 ID	7373.0
SwissProt ID	Q05707
免疫原	アミノ酸配列範囲 1571-1620 のヒト C 末端タンパク質からの合成ペプチド

背景

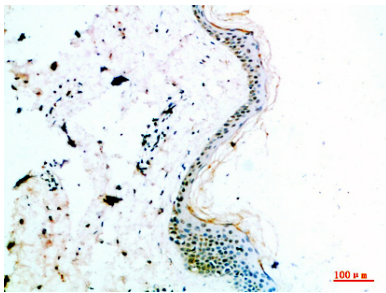
この遺伝子は、FACIT (fibril-associated collagens with interrupted triple helices) コラーゲンファミリーに属する XIV 型コラーゲンの α 鎖をコードしています。XIV 型コラーゲンは線維表面と相互作用し、線維形成の調節に関与しています。[RefSeq 提供、2013

年1月]、機能: コラーゲン束を統合することで接着の役割を果たします。おそらく COL1 を介して間質性コラーゲン線維の表面に結合していると考えられます。COL2 ドメインは、その後、線維から突き出た剛性のアームとして機能し、大きな N 末端球状ドメインを細胞外空間に突出させ、そこで他のマトリックス分子または細胞表面受容体と相互作用する可能性があります。、PTM: トリペプチド繰り返し単位 (G-X-Y) の 3 番目の位置にあるリジンは、常にヒドロキシル化され、炭水化物と結合します。、PTM: 分子間および分子内ジスルフィド結合に関与する多数のシステイン残基を含む場合があります。、PTM: トリペプチド繰り返し単位 (G-X-Y) の 3 番目の位置にあるプロリンは、一部またはすべての鎖でヒドロキシル化されています。、類似性: 線維関連コラーゲン (FACIT) ファミリーに属します。、類似性: 1 つの TSP N 末端 (TSPN) ドメインを含みます。、類似性: 2 つの VWFA ドメインを含みます。、類似性: 8 つのフィブロネクチン III 型ドメイン。サブユニット: ホモトリマー。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された